

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：南原自治会

開催場所：南原公民館

開催日時：平成 29 年 3 月 1 日（水）19 時 00 分～21 時 00 分

参加者：自治会側【地域住民の方 45 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、鈴木市長戦略部長、眞部危機管理部長、大村都市基盤部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、小玉初倉公民館長】

内 容

#### ① 太田自治会長あいさつ

- ・染谷市長が誕生して 4 年が経過する。一番感じることは、市長と市民との距離感が近くなってきたと、この 4 年間感じている。親近感も出てきたと思っている。
- ・本日はもっと近くで市長と話ができるということで、今回の車座トークを大変楽しみにしている。

#### ② 市長からの市政報告

##### ■はじめに

- ・車座トークは、本日 64 回目。3 月末までに全 68 自治会を回る。
- ・平成 30 年からの島田市第二次総合計画の策定を行っている。その他にも、土地利用計画、中心市街地活性化計画、国土強靱化計画等の様々な計画を策定している最中なので、皆さんからご意見を伺うために始めた。
- ・歩いてみると本当に島田市は広いと思った。金谷も端と端では全然意見が違う。川根も同じ。初倉も南原と湯日では違う。そうしたことを肌で感じ、色々な話を聞かせてもらい、実施して良かったと思っている。
- ・会場の後ろで市職員が傍聴しているが、職員も皆さんの意見を聞かせていただき、地元に対して理解を深め勉強になっていると思う。
- ・新聞を見た方もいると思うが、モンゴルのボクシングの合宿誘致を決めた。全国的には、まだ 10 数箇所しかオリンピックの事前合宿の誘致ができていない。その中で、静岡県は島田市も含め 5 つの市町が決まり、全国一ということ。
- ・「モンゴルのボクシングを呼んで何になるの」と言われるかもしれないが、そのことを通して、例えば、オリンピックの事前合宿を受け入れるため施設を綺麗にする、街中をバリアフリーにする、外国語のサインを街中に付ける等、様々なことに国の交付金、財政措置が受けられるようになる。
- ・ローズアリーナのメインアリーナにエアコンが無く、夏は暑い。そうした施設整備等が、今回ホストタウンに立候補することにより、国からの財政措置

を得て実施することができたなら、単なる合宿誘致ではなく、その後のレガシーとして島田市民のために色々なことが残ると思う。海外に対して目を向けて外国語教育、英語に興味を持ったり、子どもたちが外国を知り日本をどう知らせるか共生を学んだり、様々な目に見えない効果があると思い、合宿誘致に力を入れてきた。

・シンガポールの卓球も合宿誘致を進めている。6月頃にならないとシンガポールから視察団が来ないが、両方決まればありがたいと思っている。少なくともモンゴルを決めたことで、これで堂々と国に手を挙げて財政措置を受けられるようになることは良かったと思う。

#### ■市役所周辺整備について

・市民会館を解体して駐車場を整備した。車を止めやすくなったと思う。それを見た市民が、「舗装までしたので市民会館は建たないのではないかと心配をしている話を聞いた。

・平成29年1月に市役所周辺整備検討委員会を立ち上げた。市役所は築54年、施設も傷み、コンクリートの寿命が60年といわれる中で次を考えなければならぬ。隣のプラザおおりの築35年を迎える。こちらも今後どうするのか。北側の駐車場、中央小公園も合わせて34,000㎡ある。このエリアをどのようにするのか検討を始めた。

・その中の一つ、市民会館の機能をどのように再生するのかということ念頭において検討している。もし建てるなら、あの周辺で空いている土地は、駐車場にした市民会館跡地だと思う。そうした意味からも、もう建たないということではなく、既に検討に入っている。

・市民会館だけで造るのか、市民会館と市役所を合体するのか、市役所の上層がマンションかもしれない。様々な手法、時期について検討を始めている。大急ぎで、時期的なことは今年中に発表したいと思っている。

・それ以外に、国土交通省の交付金を受け、例えば市役所を造るとして、上層をマンションにして民間会社に建ててもらい、下層を市役所として使う。その代わり土地や税金は取らないというPFIの手法等について、コンサルタントを入れて検討する。時期により費用がどのくらいかかるのか検討している。

#### ■新病院の建設について

・市民病院は、平成29年3月下旬に基本設計を終え、どのくらいの金額で出来るのか、ある程度今の段階の積算額をお示しすることができるようになると思う。最初247億円と言われていた。議会から、オリンピックと重なるため資材や人件費の高騰で何十億円も増えたらどうするのか心配されたが、恐らく247億円前後に収まる形で病院が建設できる目途がたってきた。それで市役所周辺の整備に取りかかることを表明して先月から始めたところ。

・新病院は、現病院の東側の用地に建てる。地上7階建（一部8階建）。屋上にヘリポートが整備され、病床数は445床、診療科目は今とほぼ同じ。最新医療機器だけで約40億円を見込んでいます。近隣にない最新医療機器が整った病院ということで、地域の核になる病院になると思う。島田には市民病院しか入院できる病院がないため、市民の命を守る砦として病院を整備していきたい。

・京都大学から「医師を派遣することが難しい」と言われている。昔はインターン制度で教授が医師の行き先を割り振るため島田の病院にも来てくれたが、

今は若い先生方は自分で行くところを探す。京都の医師は関西圏を中心に回りたいということで、こちらまで届かないため、今は浜松医大との連携を深めてきた。1年に5、6回は浜松医大の学長や院長のところへ伺い、病院の経営の状況や医師の確保について話をしながら、「島田の面倒を見ていく」との言葉を学長からいただいた。

・良い病院が出来ても、そこで働く医師が整わなければ何の意味もない。良い医師を入れていくことが大事だと思う。4月には、副院長ポストで浜松医大から新しい先生が来てくれる予定。難病等の場合には、島田市民病院にできないことを浜松医大にお願いする連携も含めて、これから病院を運営していきたいと思っている。

#### 新東名島田金谷インターチェンジ周辺整備について

- ・2大プロジェクトとして、島田が取り組んでいることのひとつが病院建設、もうひとつが新東名島田金谷インターチェンジ周辺整備。
- ・金谷インター周辺84ヘクタールを、一度に農振除外しようとしている。一度に除外して都市的土地利用をすることはハードルが高いが、平成29年3月末または4月初めに農振除外ができる目途がたった。
- ・それに合わせて、インター周辺のインフラ整備、用地買収、新東名下に静岡空港のような無料の駐車場をつくりたいと思っており、測量や設計等の予算として、平成29年度は約7億円の予算を計上している。
- ・これが順調に進めば、JA大井川が主体となって、計画では日本一の売り場面積を誇るマルシェや大井川鐵道の新駅も出来る。市も新東名下に大きな駐車場をつくるため、奥大井に行く観光客のルートになることを期待している。
- ・以前、バス事故があり、往復500km以上は運転手を2人以上置かなければならなくなった。それ以降、川根温泉の観光バスが減った。川根温泉まで行く東京から往復500kmを越える。境界が金谷インター周辺。そこにバスを停めて、鉄道で奥に入ることを考えていきたいと思う。
- ・金谷インター周辺を住宅地域、賑わい交流地域、工場誘致する地域と分けて、そこに大井川の豊かな伏流水があるため、他に無い優位性を持って企業誘致を実施したい。雇用を生み出す産業構造をつくっていきたい。

#### ■南原自治会の人口、世帯について

- ・南原自治会の平成29年2月28日現在の世帯数は573世帯、人口は1,484人で、高齢者人口(65歳以上)は354人、高齢化率は23.9%となっている。市の平均が29.7%なので約6ポイント低い。15歳以下の人口230人で人口に占める割合は15.5%となっている。市の平均は13.7%なので約2ポイント高い。市内でも高齢化率が4割、5割を超えている地域もある。子どもの割合が一桁台の地域も増えてきている。しかし、六合と初倉地域は子どもの数が増えている。
- ・便利になり、分譲地等が多くなってきている。そのように発達している地域は初倉と六合。市街地の人は、初倉の井口交差点周辺は4車線道路が走り、店舗が多くて市内が一番都会的だと言っている。この地域の発展の可能性を示していると思う。

**■これからの行政のあり方、地域の抱える課題への取り組みについて**

- ・ある地域で「市長の力、ふるさと大使の日本通運（株）の川合会長の力で、ここに日通の工場を持ってきて欲しい。」「何か企業を連れてきて欲しい」と言われた。しかし、川合会長は、「需要があり儲かる場所なら、行政が呼ばなくても民間は進出してくる」と言っている。
- ・静岡空港が旅客機だけでなく物流の空港になれば、もっと需要が高まり人も大勢来るので何とかできないか、川合会長に直訴した市民がいた。川合会長は、「難しい」と率直に回答した。滑走路の長さが足りなくて大型機が飛ばせない。大型機でなければコストが見合わない。物流用の飛行機を飛ばすことは、今の滑走路のままでは難しい。
- ・それだけではなく、地元の皆さんは「こうなったらいい」、「あんなったらいい」と言うが、そこにそれだけの需要がなければ工場も来ない。
- ・この地域の人口が増え、活発に人が行き交う地域だということがポテンシャルになれば色々な店が来る。そのような形でここに住む人が増えていくといいと思っている。
- ・約5年間、藤枝市と合同でICTによる産業振興、教育振興を図ろうとしている。今年は初倉地域の学校現場にタブレットの導入、最先端のICT機器を用いた教育や初倉地域専用でネイティブに英語を話す教師を置きたいと思っている。
- ・クラウドソーシングワーカーを増やすため、今年は研修会等に力を入れていきたいと思う。
- ・ICTのプログラミングにも力を入れていく。子どもたちや成人向けプログラミング教育を実施する。
- ・平成29年4月、市役所に島田市版にカスタマイズされた人型ロボット（ペッパー）が導入される。そのようなプログラミングができる会社が市内にある。藤枝市が先に人型ロボットを導入しているが、カスタマイズされていないためメーカー初期設定の挨拶しかできない。島田は、カスタマイズやメンテナンスができる会社がある。地元の産業と合わせて繋げていきたいと思っている。
- ・平成28年4月、島田信用金庫本店の西側に島田市産業支援センター「おびサポ」を開設した。1年で1,200件の相談件数を想定していたが、4ヶ月で1,200件を超える相談件数があった。今年1年で当初予定の倍以上の実績だった。これは中小企業の支援。経営難、他業種進出、事業継承、新商品の開発や融資を受けたい等の様々な相談に対して解決するまで支援をする。相談は予約制だが、相談の内容に合わせて金融機関の担当や専門家を同席させて問題解決まで支援をしている。
- ・これは新たなやり方として、国にも島田型として認めていただいている。国や県も、島田型という成功例を色々なところで話題にしてくれている。そのような実績を持っている。
- ・何故これを大事にしているのかというと、大企業を誘致することも大事かもしれない。しかし、島田は99%が中小企業。中小企業の一社一社で一人でも雇用が増えれば、全体で何百人という雇用を増やすことができる。地元の会社が元気にならないと、島田自体が元気にならない。
- ・昔は、お茶の景気が良いと、その景気の良さが街中に浸透して、お茶さえ良ければ街中も商店街も潤う時代だった。
- ・今、そのような時代ではなくなった。どのようにして稼ぐ力を生み出していくのか。先ほど話をしたインター周辺の企業誘致（内陸フロンティア開発事

業)。それから、一つ一つの中小企業を元気にすること。初倉にも工業用地をつくらうとしているが、新しい分野の産業を育て、進出してもらおう。このようなことに力を入れていきたい。

- ・初倉地域は若者が増えてきているが、若者に選ばれるまちをつくっていかないとならない。その第一には、待機児童の問題があると思っている。平成29年秋までに、0から2歳児の子ども70人規模の保育園と12人規模の小規模施設の計82人の定員を増やし、それでも足りなければ、平成29年に幼稚園が子ども園化していくことと合わせて約200人の定員を増やすことができると思っている。

- ・現在、待機児童27,8人のため、潜在的待機児童を入れても、平成30年になれば島田市は待機児童無しで保育園に入園できるようになる。

- ・こうしたことも若者に住んでいただける大きな魅力づくりだと思う。それができると、次は放課後児童クラブの待機児童も解消していかねばならないし、様々な子育て世代のニーズに合うきめ細かな支援をしていかねばならない。そういう意味では、島田市はしっかりやっていると思う。

- ・長泉町と島田市が、常に子育て支援で県内どちらが1位か2位と言われる。しかし、特徴的なのは、島田市の子どもを持つ世代は、一人子どもを産んだ人は大体二人目を産んでいる。結婚をしている人だけを考えると、島田市の合計特殊出生率は2.0以上。ただ、未婚と晩婚の方がいて全体が下がっている。長泉町は、一人しか産まない方が約7割。子どもを二人三人産んでくれる人たちが多くて子ども一人が多い地域では政策も違う。それぞれの地域に合わせた政策の取り組みをしていきたいと思っている。

- ・役所の仕事と別のことで、この4年間気を付けてきたことが3つある。

- ・一つは世代交代。若者が入ってこない組織は繋がっていかない。色々な組織に若者が入ってこないため、上手く回っていかない。まちを考える若者、行政に関心を持つ若者が育っていかないとならない。同じことをやるにも人がいないとできない。人をつくっていく意味で世代交代をしっかりやっていく。

- ・二つ目は、対立軸を生まないこと。対立軸を持っていると島田は力を発揮できない。島田市は一つ。外に向かって全体の力を発揮していかないとならない。

- ・三つ目は、市役所は究極のサービス業。市民の皆さんの方を向いて仕事ができているのかどうか。組織改革と職員の意識改革を徹底してやることを心掛けてきた。

- ・経営の4つの柱、理念を持ってやっている。

- ・一つ目は、市民ファーストのまちをつくる。市民が第一、お客様第一のまちをつくる。

- ・二つ目は、効果や成果を検証しながら、仕事の中にスクラップ&ビルド（何か新しいことを実施するときは、何かを止める）を徹底する。

- ・三つ目は、島田らしさの追求。島田の誇り、強みを市民も語れるように、職員が島田らしさを追求する事業ができるようになりたい。

- ・四つ目は市民協働。市民の皆さんと一緒に、このまちをつくっていくことを頭に置いた事業展開をしていく。

#### ■初倉地域の取り組みについて

- ・初倉にも工業用地をつくりたいとずっと思っており、中河地区の東中瀬工業団地を検討している。今のところ、地権者との話し合いで少し時間がかかっ

ている。できれば半分だけでも、企業を誘致できる工業用地として整備をしていけたらと思う。みどりの園周辺からその工業用地に向けた道路等を整備していきたい。

- ・進出してきた企業がある。名前を聞けば皆さんわかる企業。できるだけ初倉に雇用を生み出すためにも、そちらの事業も進めていきたいと思っている。
- ・南原周辺の道路で車の通りが多くなり困っていると思う。そうした中、牧之原市坂部まで全長 1.7 km、幅員 6 m で 2.5 m の歩道が付く空港アクセス道路を計画している。この道路の事業費が約 14 億円。既に平成 26 年から平成 28 年 12 月までに 4 回の地元説明会をしている。平成 29 年度は、用地の測量や調査等をするという。農道を分断するため、代替機能をどのようにするのかについても、地元の皆さんの同意が得られるように調整を図っていく。地元要望への対応等を含めて今後実施していく。
- ・アクセス道路は、平成 32 年頃に完成すると聞いていたが、坂部の方で用地の交渉が難しいところがあり、いつ頃完成か示すことができない状況。県の土木関係との話し合いの場で、そのような説明となった。事業は着手しているため、多少遅れても造っていくことで地元の皆さんに貢献できれば良いと思っている。
- ・ここ数年、谷口中河線や色尾大柳線等の道路整備に力を入れている。
- ・色尾大柳線は、色尾の交差点から堤防付近まで繋がる。
- ・谷口中河線も途中まで整備している。平成 32 年、33 年頃、両道路が交差するところにラウンドアバウト（信号機の無い環状交差点）を整備する。
- ・初倉の消防署は、昨年耐震補強をして、大きな災害があっても機能を果たせる消防署になった。
- ・初倉の消防署は、今まで以上に大きな役割を果たすようになった。平成 28 年 4 月から静岡市・島田市・牧之原市・吉田町・川根本町で広域消防を組織している。それにより、今までは支援を求めないと静岡市からヘリや特殊車両が来なかったが、今は全て同じ地域なので、島田で大きな災害があれば、すぐに静岡市からヘリや特殊車両が来る仕組みになった。
- ・そうした中で、初倉の消防署は南側を向いた拠点になった。牧之原市や吉田町の方を向き、何かあれば初倉消防署から出動することが増えてきた。
- ・昨年、初倉で同時刻に火災が 2 件発生した。これまでは消防車が足りなくなった。広域のメリットが最大限活かされたと思うが、榛南からも消防車が来た。島田消防署からも応援車両が出動し、島田消防署が空となったため、その部分を静岡市から消防車が来て補ってくれた。
- ・皆さんは、広域化で初倉の火災現場がわかるのか心配すると思うが、通報受信する部署に大きなモニターがあり、電話がかかると同時に場所が判明する。すぐにデータで発信されるため、どこの消防局が取ったとしてもそこに行けるようになっているので安心してほしい。
- ・みどり幼稚園の跡地について、南原からは少し遠いが、ナフコがあり、大きな交差点ができた。跡地を今後どのように使うのか、皆さんからご意見をいただいている。高い建物が建てられない軟弱地盤であるため幼稚園が移転した事情があり、杭打ちをしても 2 階くらいまでの建物と思っている。建物をつくるのか、道の駅をつくるのか、初倉郵便局が手狭なので移転したらどうかという意見もある。農協の支店が複数あり、もし合併したらあの場所にどうかという。色々な意見が出ているが、方針を決めているわけではない。
- ・跡地は、家庭菜園があり県道に面していない。県道に面した方が使いやすいため、先に土地を購入したらどうかと考えるが、行政は目的が無いものは買

えないため先に購入することができない。使い道が決まった段階で、広げる必要があるのなら交渉をする。今は、消防署の所から入った奥の入口からしか入れない土地になっている。このあたりを勘案しながら、今後の方向を決めたいと思っている。

- ・道の駅の要望は素晴らしいが、それを誰が運営するのかということとセットでなければ話が進まない。先ほど話をしたが、金谷に日本一の広さを誇るマルシェができる。似たような機能が近くにある影響が課題となる。

- ・金谷中学校跡地も、一昨年アイデアコンペを実施し、癒し・健康・食のコンセプトをいただいた。昨年は、有識者会議で事業方針案が示された。今年は、民間から全国公募で進出して来たい方々の話を聞く機会をつくっていきたいと思っている。

- ・金中跡地にできるものによっては、初倉がどうあるべきか考えないとならない。幼稚園跡地の利用方法について決まっていないのが現状。皆さんのご意見を聞きながら、幼稚園跡地の使い道を遠くない将来に決めていきたいと思っている。

- ・初倉に来て色々話をすると、初倉はもっと発展できると皆さん言う。どのように発展したいかという話になると、工場誘致、雇用を創出して欲しいという方もいる。一方、はばたき橋が完成し、藤枝や榛南等から人が来る交通結節点となり、便利になったが治安も心配しなければならないという話も出ていた。安心安全な暮らしを、この地域の良さを活かしてつっていききたい。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■ふるさと納税について</p> <p>ふるさと納税について、納税されたお金はどのような使い道をしているのか。</p>	<p>●島田市のふるさと納税実績は約1億円。近隣の焼津市が頑張っているため色々言われるが、1億円でも全国的には低くない位置。</p> <p>皆さんに知っていただきたいが、例えば、ふるさと納税で1万円をいただいた場合、島田市は5千円分の地場産品を返礼品として送っている。一番人気は神座みかん。郵送料、ふるさとチョイス（インターネット）の掲載料等の経費がかかっている。</p> <p>島田市民が他市に1万円納税をした場合、8千円の所得控除を島田市がしなければならぬ。ふるさと納税を実施していても赤字のまちが多い。横浜市は、一昨年60、70億円のマイナスと言われている。</p> <p>ふるさと納税は色々な課題があると言われており、島田市の実質の純利益は約1割。1万円の納税をいただき約千円分。</p> <p>納税の使い道は、特に教育と子育ての分野。目に見える所ということで、</p>

		<p>学校トイレの洋式化を前倒しすることに予算付けをしている。</p> <p>ふるさと納税は、最近行き過ぎたことで総務省から色々通達があるが、市によっては、フランス製の時計や、海の無いまちが海産物を返礼品にしたり、そうした色々な物でお金を集めようとしているところもある。島田市のように地場産品に限って実施しているところもある。純利益は1割かもしれないが、1億円納税されれば、5千万円は市内物産の購入費として地域産業にはつながっていると思う。</p> <p>行き過ぎないふるさと納税、節度を持って島田の物産を送ることを実施したい。こうした物産だけでなく、例えば、大井川鐵道の車両貸切で結婚式の実施コース、1口5万円の大井川マラソンの出走権等、他所にない特色を出してふるさと納税を集めたいと思う。30万円コースも人気で、サカイ産業の炭素繊維ゴルフバックが人気だと聞いている。地場産業の振興と併せながら、いただいたお金は目に見える形で使うよう努力している。</p>
<p>2</p>	<p>■消防署の署員の所属について</p> <p>消防署の署員は、静岡市の署員か、今まで通り島田市の署員で給料等も島田市から出ているのか。</p>	<p>●平成28年4月、消防の職員は、全員島田市の職員を辞めて静岡市の職員となった。その職員の給与等は、島田市が静岡市に払っている。若い職員は給料が少し上がり、署長は下がったようだ。島田市の給与体系から静岡市の給与体系になったと思う。</p> <p>今配置されている職員は、殆どが元からの職員が多い。異動はあるが、現場を知らない職員ばかりになることはないので安心してほしい。</p> <p>救急車や消防車を見たとき、静岡市消防局と書かれているため驚く方もいるが、広域化の結果。</p> <p>この広域化に焼津市と藤枝市が入っていないことに対して、何故なのかという声も聞く。以前、焼津市と藤枝市が志太消防を立ち上げるとき、島田市にも声が掛かったようだが、その時島田が入らなかったため焼津市と藤枝市で志太消防本部を立ち上げた。</p> <p>現在、島田市が志太の消防に入ると3市合計約40万人の人口規模となるため、志太消防本部の設備を変更しないと島田市を入れられない事情が</p>



		<p>あり、島田市は静岡市の消防本部と一緒にになった。</p> <p>数年後には、志太消防本部も機材の更新時期を迎えるため、いずれは静岡県中部が一つになれば理想だと考えている。そうなるように努力をしていきたい。</p>
<p>3</p>	<p>■島田市と大学の提携について</p> <p>島田の祭りで国土館大学がパフォーマンスを行っていた。そうした大学と島田市が提携を結べないか。</p>	<p>●提携は既に結んでいる。静岡県立大学、静岡大学、常葉大学等と連携を深めている。特にしっかりとした締結を結んでいるのは、静岡県立大学だと思うが、学生が来て様々な島田市の事業に意見を言ったり、新しいアプリの開発をしてくれたりしている。大学の先生にも島田市の様々な事業への提案をいただいたり、市職員が勉強に行ったり、そのようなことも併せて実施している。</p> <p>島田市は、高校との連携も深めている。市内に5つの高校があり、特に工業高校や商業高校など他所にない県立学校がある。島田商業の生徒には、スマートフォンアプリの開発や様々な市のサービスに関する提案をいただき、島田工業の生徒には、建物の長寿命化で一緒に仕事をさせていただいた。</p> <p>建物の長寿命化についてだが、段々と人口が減り、島田市は2040年には約8万人になると予測されている。今は労働人口が6割強だが、働いて税金を納める人が約5割になる。島田市だけの話でなく、日本全体で規模が縮んでいく時代になった。</p> <p>金谷と島田が合併してから10年間は、2つのまちの地方交付税を貰っていたが、平成32年までには島田市1つ分の地方交付税になる。この加算されていた額が年12億円。この12億円が無くなる。2010年と2020年と比較すると、超高齢化で労働人口が減るため税収が約8億円減ると想定している。合計20億円の減。</p> <p>昔のような右肩上がりの、税収が増えていくような時代ではない。むしろ労働人口が減り、税収が減る中でどのように稼ぎを生み出すのか。同時に医療・介護・福祉等の扶助費という福祉の予算が、一昨年までは一般会</p>

計の約30%だった。昨年は33%になり、3%増が10億円だった。今年は、一般会計に占める割合が34.5%になった。元気に長生きして、活躍してもらうためには色々な施策をしていかないとならない。

医療費も高くなり、高額な薬が増えてきた。1錠8万円のC型肝炎の薬を3か月服薬すると720万円、皆さんは保険があるので、月2万円ずつ払ってくれば残りは保険が負担する。肺ガンの薬も1年分が3,500万円。このような医療費がかかってくると、予算が足りなくなってくる。そういう時代の中で、国は、団塊の世代が高齢者になる2025年を目標に、病院（施設）に居る方たちもできるだけ自宅へという在宅への流れをしっかりと打ち出してきている。昨年からは島田市の24時間訪問看護ステーションは、24時間いつでも医師の指示書に従った医療行為をする看護師を皆さんのお宅に派遣し、そうした在宅への流れを安心してもらえるように始めている。

一方、公共施設、道路や橋、これも高度成長期と言われた時代に一度に造った。昭和58年は、小中学校6校、プラザおおるも建設したくらい景気の良い時代もあった。しかし、一度に造ったものは、一度に悪くなる。島田市が持つ公共施設は、276施設663棟ある。今後40年間これを維持管理更新するために、2,150億円が必要とされている。医療、介護や福祉もお金がかかるし、稼ぐ力もつくらなければならない、子育て支援もしなければならない、大きな災害に備えて安全安心という防災にも取り組まなければならない。削れるところは削っていかなければならないという中で、今後40年間で約21%の公共施設を削減する方針を出している。いずれは、3つあった公民館が2つになるかもしれない。山間地で橋が3つあったものが2つになるかもしれないし、道路や橋も5年に一度は点検しなければならない。笠子トンネル事故後、国土交通省から、全ての道路、橋やトンネルを5年に一度点検して、悪ければ直しなさいとされている。島田市道だけで1,180km、所有する橋が1,152橋ある。これを5年に一度点検

して直していくことは大変なことで、今までは、どんどん新しいものを造ればよかった予算が、新しいものばかりでなく、長く使うために予算を使わなければならなくなった。国も非常に財政難で、国の借金が1,066兆円、国民一人当たりの借金が840万6千円になった。こうした中で国も予算を削っており、インフラ整備の予算が15年前の3分の1になった。前は約15兆円だった予算が、約5兆円規模になった。県の予算も同様。島田市が道路を整備したいと思っても、予算が付かないと1年遅れ、2年遅れになる状況も生まれてきている。昔は、行政に任せておけば順番に整備してくれた。ところがそうはいかなくなった。道路1本造るのに、国や県にお願いに行く。この道路が出来れば、人口が何人くらい増え、店舗が何件くらい建つ等の効果をしっかり見込んでお願いしないと予算を付けてくれない。更に言えば、大きな道路を整備するためには、地元の方を連れていかないと、なかなか予算を付けてくれない。今年3月に完成する東町御請線は、昨年、六合地域の方を連れて国土交通省に要望活動に行った。

そうした時代になってくると、地域の課題を解決するとき、自分達で出来ることは、地域で何とかしていくことと合わせていかないと、このまちに住む安心感にならない。島田市は幸いなことに、地元を良くしたい、地元のことが大好きな方が多く住むまちだと思っている。例えば、藤枝に若者が増えていると言っても、便利だから住んでいるだけで地元を良くしたいと思っていない。島田は、地元を愛する若者が大勢いる。これが、これからの島田の大きな力になる。島田の人を育てたいと思っている。地元の方たちが出来ることをしっかりやってもらうという意味では、道悦地区が道悦島応援隊を組織し、1時間利用券500円、ゴミ出し1回150円のチケットを高齢者が購入し、地元のボランティアが生活支援をしている。湯日では、放課後の子どもを集めて、ボランティアが子どもを見ることを実施している。島田の北部では、市がワゴン車・燃料費・保険・人件費を負担して、地域の中で自分達が路線バス（地域内バス）を運行することを検

		<p>討している。地元の方々がこれを実施するのであれば、市は支援していく。様々な地域の課題を解決するにあたって、このようなことを実施したいということがあれば、話をさせていただきたいと思う。皆さんの要望に応えられるように、行政も一生懸命やっている。まちづくり支援交付金は、今まで1年しか交付してこなかったが、今は合計6年180万円まで交付している。こうした様々なことを使いながら、地域で出来ることを、皆さんで南原型をつくってくれればありがたいと思う。</p>
<p>4</p>	<p>■農業の補助金について</p> <p>防霜ファンをやっているが、斜面で耕作放棄地が出そう。市の農林課等が一生懸命やってくれて荒れることはなくなった。道も要望して作ってくれてありがたいと思っている。</p> <p>後継者が無く、放棄地になりそうな所がある。規模拡大には補助が出るが、現状維持では補助が無い。防霜ファンを効率良くさせるには、放棄地が無いことが必要であるため何か対策がないか。</p>	<p>●中間支援機構を使って、耕作放棄地を借りてくれる人がいるならば、改植等に一反当たり8万円の補助がある。</p> <p>この4月から、農林課内にお茶振興室を新たに設け、お茶の振興、普及、啓発活動等をやろうと思っている。今も耕作放棄地の問題や農業経営の指導員を置いているが、消費拡大、売れるところを探す対策で専門員を置きたいと考えている。</p> <p>がんばる認定農業者の支援交付金は、1件当たり80万円を平成28年度までの5年間としてきたが、平成29年度以降も5年間は続けることで方針を決めた。今までと同じ80万円だが、これを使っていた。</p> <p>昨年、島田市内で新規に農業をやりたいという若手が3人いた。新規の若手就労に国の補助金があるが、受けることが難しい。例えば、最初から複合経営をする、女性で起業する等であれば点数が高くなる。国の支援金はポイント順であるため、一般の男性が農業をやりたいと言っても、なかなか補助金が付かない現実がある。島田市は、今年から新規就農者に100万円の補助をすることを決めている。島田のお茶を市外に売り込みに行くことに対して、宣伝費用の2分の1（5万円）は補助する。</p> <p>今、売れ筋は甜茶と有機栽培。これはいくら作っても売れるほど売れ筋が伸びている。需要と供給のバランスも大分落ち着いてきて、良いお茶は安定した価格で売れるようになってきている。こうした輸出茶をやろうということであると、例えば、農林事務所の方と話をしたとき、2年耕作放</p>

		<p>棄地であった所は、1年手入れをして、2年間農薬を使わなかったことでカウントして、あと1年手入れをすれば有機として扱えることを考えたいと言っていた。残留農薬を検査する費用の補助金、有機JASの認定を受ける補助金を用意している。</p> <p>このままでは小規模の農家ばかりで繋がっていかないという中で、金谷の西原で若者が土地を集約して農業経営に乗り出した。切山でも基盤整備をしている。こうした若手就農者の支援をすることで、お茶で生きていけるモデルをつくっていききたいと強く思っている。</p> <p>今月9日から15日まで、東京都渋谷のロフトで島田市のブースを借りて、島田茶のマーケティングリサーチを実施する予定。島田市ブランドのお茶の売り込み、試飲等を実施する。巨大スクリーンに島田市を紹介する映像を流し、島田茶の振興をしたい。平成29年度、海外は、台湾、ベトナム、アメリカと考えている。</p> <p>出来ることは全てやって、基幹産業であるお茶の支援をしていきたい。売れて困っているお茶屋も島田市内にある。和紅茶・甜茶・有機は、いくらでも買いたいというところがある。頑張っているところがあり、和紅茶の部で島田は1位から3位まで産地賞を受賞した。実力のある方もいるため、こうした元気な方の波及効果に期待している。金谷には、若手の甜茶研究会という売れ筋のお茶を研究しようとする動きがあるので、こうしたことも合わせて、島田のお茶の生きる道を探していきたいと考えている。</p>
5	<p>■犬ヶ沢の改修工事について</p> <p>犬ヶ沢の改修工事は、平成27年度から工事を開始して5年計画で完了することとなっているが、今年は挫折しそうな感じで計画通りいっていないようなので、是非計画通り工事が終了するように実施してほしい。</p>	<p>●（都市基盤部長）</p> <p>事業費が付きにくいこともあるが、職員も気にしていることは事実。努力していくので、地元からも要望をお願いしたい。</p> <p>（市長）</p> <p>地域の要望は大きな力になる。自治会を通して要望を上げていただきたい。市も予算の確保に努力する。昨年、島田が要望する公共事業の補助金</p>

		<p>(社会資本整備総合交付金)を国にお願いしたが、要望額の52%しか付かなかった。既に工事を実施しているところは、継続せざるを得ないため続ける。そうすると、新規に工事を計画していたところが、1年遅れになることがある。昔のように満額の要望額が付かないため、国に行って要望活動をしているがこのような状況。精一杯頑張る中で、島田は比較的事業が実施できている。</p>
<p>6-1</p>	<p>■放課後児童クラブ指導員の待遇について  待機児童の話や、初倉は若者が多いという話だった。  共稼ぎが多く、子どもが家に一人で帰ることは親としても辛い、その間預かってくれるのが放課後児童クラブだと思う。指導員の待遇が悪いと思う。先日新聞に掲載されたが、各自治体により政策が違っていると聞いている。島田市として、もう少し優遇することで、安心して子どもを預けられるようにすべきと考える。</p>	<p>●放課後児童クラブの課題は強く感じている。保育園は目途が立ってきた。  昔は、3,4年生になると家で遊ぶ子どもが増えたが、今はずっと放課後児童クラブにいる。要望が増えており、今年は六合で老人施設が放課後児童クラブを開設する。初倉でも月坂保育園が放課後児童クラブを開設する。民設民営も増えている。島田が運営している放課後児童クラブの指導員は、資格の必要な主任が時給1,050円、その他の方が時給950円。時給を上げれば人が来るのかということ、勤務時間が14時から18時頃までで、本当に働きたい人は朝から働きたい。短時間、しかも子どもが帰ってきて夕食を用意する時間に重なるため、若い女性がなかなかやれない。どうしても、夕方家で子どもが待っていない世代の人が多くなり、働きたい人は朝から働く方を選ぶので、指導員不足というのがある。男性の方でも、高齢者でも、放課後児童クラブの指導員として働いてくれる方がいればお願いしたい。人間関係の問題等あり、かなり課題があった。少しずつ改善はしているが、十分課題については認識をしている。  今年は、全てのクラブで18時30分まで預かる。これが19時、20時となると、今度は夕方から勤務する別の指導員を雇わなければならなくなる。遅くまで開設するとなると、民設民営のクラブが必要になると思う。  東京では、放課後児童クラブに来た時から帰るまで英語以外は使わないところや、高額だが家庭教師がつくようなクラブが人気を集めている時代になってきた。島田の放課後児童クラブも段々変わっていくかもしれない。今のところ、島田の場合は一部民設民営はあるが、公共施設を使って開設</p>

		<p>している。6年生まで見ることにしたため、これからますます需要が高まると思う。保育園の待機児童が解決した後の最大の課題と認識している。</p> <p>給料の値上げ競争になってしまうと終わりがなくなる。関東圏では、保育士が足りないため、ある市が給与5万円の上乗せをしたところ保育士が集中した。隣の市が7万円上乗せにしたところ、そちらに流れてしまい、別の市が10万円と競争になり、保育士の定着につなげていない。給料体系だけではない、働きやすさ等の処遇改善も一緒に考えていきたい。</p>
<p>6-2</p>	<p>■各地域で別々というのが問題だと思う。国で基準を定めてくれれば、市もやりやすいのではないか。</p>	<p>●学校は文部科学省の管轄、放課後児童クラブは厚生労働省の管轄になるので、現場の折り合いが難しいところがある。市役所の内部だけでも、厚生労働省分野と文部科学省分野と分かれているところを一つにすると、進んでいくのかと考えている。</p>
<p>7</p>	<p>■市有財産の整理について</p> <p>これから超高齢化を迎え、市政も財政が苦しくなる。生産人口が減れば当然そうなる。市の有形資産が多いと聞いたが、整理しないと成長戦略に投資が向かないのではないかと心配している。政策として、成長戦略に投資ができるような形をつくったらどうか。</p>	<p>●この4年間、舵の切り替えということで財政も絞ってきた。平成29年度末には、市の借金は合併後初の300億円台となり大きく改善される。基金残高も増えた。これからは、病院、市役所、老朽化する学校施設、インフラ整備、インター周辺の土地利用等に投資が必要。大きな投資を必要とする時代を迎える。中長期的に見たときに、財政健全化に道筋を付けていく。20年30年でこうなったものを、5年10年で改善できない。しっかり道筋を付けながら、見える化をしていく。</p> <p>行政は、道路や橋も資産であるため、お金で換算することはできても、財産として有効活用することは難しい。行政は一般企業の経営と違うところがある。有形資産で持っている土地等は、最大限売るのは売り、使うものはPFIを活用し、行政が何でも建てる時代ではない。できるだけ民間の投資を促す中で、行政が物を持たず、公的機能だけをそこにすることができないかという発想を持って、これからの公共事業については考えている。</p> <p>しかしながら、歳入を多くするところについては、最大限力を尽くしていきたいと思っている。</p>

8	<p>■道路整備の説明会について</p> <p>牧之原市坂部に抜ける道路について、4回説明会を開催したと言われたが、当初予算60億円（トンネル）が、今は14億円と安く出来そうで結構な話。</p> <p>地元への話し合いは、地元民が納得できるように、4回が40回でもいいと思う。これからも県の話し合いがあると思うが、有効な話し合いを継続してほしい。市からも県に伝えてほしい。</p>	<p>●南原連絡調整会議を開催している。こちらを継続していくことで、関係部局、島田市、牧之原市も、地元の皆さんの話を聞きながら実施していきたい。これからも地元要望への対応を含めて検討し、地元説明を続けていくことは島田土木事務所から聞いている。</p>
9	<p>■学校施設の整備について</p> <p>モンゴルから来るスポーツの話がまとまったことは結構なこと。</p> <p>吉田町は、小学校に空調設備を整備して、子どもが勉強に集中できるような状況になった。島田市は予算が無いような話も聞くが、子どものための施設にも予算を付けてほしい。</p>	<p>●学校の数が吉田町と異なる。吉田町は中学校1校、小学校が数校。島田は小学校18校、中学校7校ある。例えば、川根本町は、学校の数が少ないためやれることがある。川根本町は、行政が塾を実施する。これも川根本町に塾が無いためにできること。島田市は塾がたくさんあり、民営圧迫と言われてしまうためできない。</p> <p>島田の学校施設は、施設の老朽化と合わせて考えていかないと費用が嵩んでしまう。新しい学校にしていくときに合わせて考えていくことと思っている。もう少し時間をいただきたい。しかし、これから10年20年経てば直さなければならないところに大きな投資をするのではなく、これからの学校を考えると一緒に考えることだと思う。</p>
10	<p>■湯日川の土手の舗装について</p> <p>湯日川の井口側の土手は舗装されているが、南原側だけ舗装されていないので舗装してほしい。平成28年度要望書は出している、3つのうち1つ。井口は自治会で要望書を上げた。何故同じように反対側を舗装してくれないのか思う。</p>	<p>●湯日川の堤防道路に待避所設置の要望はいただいているが、確認して自治会長にお知らせする。</p> <p>「要望はいただいているが、市全体で自治会から要望が上がってくる中で、必要性、緊急性など高いものから実施していくため、評価委員会で審査をした結果、事業化に必要なところまでいかなかった」と担当課からの回答がある。</p> <p>自治会として要望を上げていただきたい。</p>
11-1	<p>■初倉地域の将来ビジョンについて</p> <p>活発化する市をつくるためには、金谷インター周辺整備、東中瀬工業団地を諦めていないと聞いている。一方、お茶の産業も一生懸命やって</p>	<p>●初倉全体のビジョンは、まだ地元の方々と一緒に作っていないと思っている。この話し合いがまず必要と思う。実際、言いたいことはわかる。金谷は何故、インター周辺が整備されるのか。地元の方々と一緒にエリア毎</p>



	<p>いくと説明があった。初倉地域だけを見た将来ビジョンについて聞きたい。</p>	<p>に分けて議論を重ねた中で、ビジョンを住民と一緒に描き、それをもとに行政も開発に着手している。</p> <p>難しいと思っているのは、島田吉田線が綺麗になり、両脇に店舗が出来てもいいものだが、農業基盤整備を実施しているため大井川土地改良区の受益地になっており、事業完成から8年間は動かすことができない。様々な規制がかかっている中で難しい。</p> <p>初倉のまちづくりについて、皆さんと一緒に話をしたいと思う。島田市全体としてのビジョンは持っている。例えば、川根地域は、自然環境を活かした観光分野で地元にお金が落ちる仕組みをつくりたいと思っている。エリア毎のものを持っている。しかし、この初倉地域は、交通結節点として重要であり、人口も増えているが、農地保全等の色々な規制がかかっている。様々なことを検討する中で、初倉地域のどこを、どのような形に変えていくことができるのか、まちづくり協議会的なことを始めていく時がきていると思っている。みどり幼稚園の跡地も大きなポイントとなる場所と思っている。話し合いを重ねていければありがたい。</p>
<p>11-2</p>	<p>■企画は口だけで言えるので出来るが、市の中に過去数年間でビジョンや構想が色々あると思う。それをどのように実行していくのかは、人やお金が揃わないと口だけでは出来ない。行政に旗を振れというわけではないが、行政が引っ張る形にしないと。民間活力と言っても、最初の取っ掛かりは行政がやってくれるとありがたい。</p>	<p>●それは自覚している。お金が無いと言われるが、お金が無いわけではない。借金をすればいくらでも使える。今まではそうやってきた。しかし、それを返すことに苦労している。目に見えるものだけでなく、これからの島田市が必要なものがたくさんある。賢く選んで賢く使うことをやっていきたい。病院、市役所周辺や学校等、投資しなければならないものが増えていく。最初は行政が引っ張ることはその通りだと思う。</p>
<p>12</p>	<p>■コミュニティバスのラッピング広告について コミュニティバスは赤字だと思うが、静鉄バスはラッピングで広告料を取っていると思う。黄色のバスは、業者にラッピングさせることを考えていないのか。</p>	<p>●全体ではないが、一部に広告がラッピングされている。全体をラッピングすることで募集をしていないが、そのような募集の方法もあるかと思う。島田球場の名前を、企業名が付いたもの等に替えるかわりに広告料をいただく（ネーミングライツ）募集をかけたが集まらなかった。大きな場所で、テレビに映る所ならば効果があるかもしれない。ネーミングライツは、小さな公園やトイレ、通りの名前等で色々募集したが、応募する企業が無か</p>

ったのが現実。コミバスについては、広告料を取りながらラッピングバスを含めて考えていきたいと思っている。

コミバスは、年間2億4千万円を使って走らせている。それでも「本数が足りない」「利用者が少ない」等の話を聞いている。バス業界は撤退しようとしている。理由は、運転手の人手不足が深刻。路線を廃止する連絡がくる状況の中で、市は廃止になる路線を引き受けるような形でコミバスを公共交通機関として運行してきた。本村（湯日）まで運行しているが、高齢化等のため南原までコミバスに来てほしいという話がある。福祉の観点で、5億や7億円の経費をかけて要望通り運行していくのか、デマンドや乗り合い等色々考えていかないとならない。1本走らせると年間650万円かかる。ある地域から本数が減ったとお叱りを受けたが、コミバスが通っていない自治会からすれば不公平を感じている。公平性という意味からも難しくなっている。

コミバスも考え直さないとならない時が来ている。免許証を返納した方に、コミバスチケットやタクシー券が出せないのか話をいただく。他市では、免許返納証明書の交付費用を助成しているため、こうしたことは島田市も考えていきたいと思う。ただ、75歳以上の方が月1回市民病院に行く片道千円を補助しても、年間4億から5億円がかかる。75歳以上でも元気な方がいれば、75歳以下でも病院に通わなければならない方も大勢いる中で、公平性の担保が難しい課題。交通弱者と言われる方をどうしていくのか、地域の中で集めて連れていく方法もある。一方で、今は物流が発達しており、欲しいものが自宅まで届くサービスはできる。

先日、郵便局から、独り暮らしの高齢者の見守り事業の説明を受けた。月1回、お年寄りから話を聞いて、その結果を子どもに連絡するのに1回3,500円。郵便局も年賀状が減っており、新たな事業に進出する説明を受けた。行政も、高齢者の見守りは電話を掛けたり、同じようなことを実施しているので郵便局のサービスを受ける予定はないが、これからは、例え

		<p>ば、組長が高齢化で広報紙を配布することが大変になったところを郵便局が担う等、これまでと違う発想を持って考えていかないとならないと思う。どこも生き残りをかけて、色々なことを始めている。</p>
--	--	--

※5の回答の一部以外、全て市長から回答した。

#### ④当日の様子

